



# 大阪府議会議員 まさや しばたに匡哉

# 民主党・無所属ネット 府政報告

2012年11月

発行:民主党・無所属ネット府議会議員団  
〒540-8570  
大阪府中央区大手前2丁目府議会控室  
<http://www.minshu-osaka.jp/>

# 弱者にこそ「政治の光」を

## 民主議員団が知事に府政の方針を質す

大阪府議会9月定例会の前半部分がこのほど終わりました。この議会は脱法ドラスグ対策や大都市制度のあり方、府市統合本部の運営と顧問らの問題、いじめ対策・危機管理など多くのテーマがあり、民主ネット議員団は代表質問や一般質問、委員会質問などでこれらを取り上げましたので、主なものをお伝えします。

### 改革強調で独断に陥っていないか？

橋下前知事の辞任後、松井知事が就任してからほぼ1年が経過しました。民主ネット議員団は、松井知事がこの間、財政規律を堅持し、本当に府民の暮らしを守り、大阪経済活性化への

取り組みを具体的に進めてきたのかを検証しました。松井知事は、「府政運営の基本は橋下前知事と同様だ」と言ってきました。前知事は就任直後に財政非常事態宣言を出し、収入の範

囲内で予算を組む、全分野の事務事業を見直すとし、常に「費用対効果」、「競争」を主張してきました。しかし、行政サービスには費用対効果の分析になじまないものもあり、頑張りたくても頑張れない人、競争のスタートラインにも立てない人もいます。この人達にしっかりと政治の光を当てることが府政の基本です。

議員団は、「知事はスピード感ある改革をと言うが、結論を急ぎすぎて独断に陥ってはいいないか、多様な意見を十分に集めよ」と、厳しく指摘しました。

## 問題だらけの府市統合本部

昨秋の大阪府知事、大阪市長選後に設置された「大阪府市統合本部」は、経営形態の見直しや、類似・重複した行政サービスの点検などを行っていますが、運営方法や人選などを巡って多くの問題があります。

民主ネット議員団は、これまで十分な協議がなされてこなかった課題を検討することは当然だと考えています。①助言者であるはずの特別顧問らが統合本部を事実上、牛耳っているのではないかと、②謝礼が府の他の行政委員と比べて余りにも高額すぎる、③特定の政治団体で重要な役割を果たしている者が顧問などに就任しているのは行政の中立性からみて問題、④府内の全市町村に関わる課題を府と大阪府だけで決定しているのはおかしい、と本会議や委員会



本会議場にて松井知事と対峙する上の政調会長（質問者）と柴谷議員（質問補助）

代表質問の概要は2面、3面に つづきます。



# 真に府民の立場に立った府政運営を

(代表質問 冒頭挨拶より)

## いじめの撲滅は、学校づくりから

すべての子どもにとって、安全で安心できる場所であるはずの学校で、様々ないじめ事象が起こり、尊い命が失われたことは本当に悲しいことです。

いじめ問題の解決にあたっては、子どもたち自身に「いじめはなくせるんだ」という意識を育てるなど、子どもたちの力を引き出しながら、「いじめを許さない学校づくり」を推進する

## 教育の現場に教員が足りない

いじめ問題の解決のためには学校など現場体制の充実は不可欠ですが、近年、非正規教員の割合が増加傾向にあり、文部科学省は「改善を促す」との考えを示しています。

学校生徒会サミットの開催や、PTA協議会など各種団体への働きかけによって、社会的な気運の醸成に努めたい」と答弁がありました。

てないほど学校の負担が増大している現状をどのように考え対処するのかを問いました。

## 特別顧問・特別参与への高額すぎる報酬

知事が委嘱する「特別顧問、特別参与」への報酬については、非常勤職員医師や弁護士（月額2万4千円）より高額の報酬（4時間超会議で月額5万5千円）に基づいて、今年4月から7月までのわずか4カ月間だけで約2千百万円を支出し、かつ、大阪市もほぼ同額を支出しています。

大阪府は、教職員の定員が充足されず臨時的任用教員の配置割合が「過度に高い県」の一つであり、かつ宿泊できることや、介護保険外でありながら低価格で利用できるというメリットはあるものの、安全面やプライバシー確保などに関して、その対処方針を国が提示していないという課題もあります。

## お泊りデイサービスの安全確保

ここ数年のうちに全国規模でサービスが拡大している「お泊りデイサービス」は、普段から通い慣れているデイサービスでそのまま宿泊できることや、介護保険外でありながら低価格で利用できるというメリットはあるものの、安全面やプライバシー確保などに関して、その対処方針を国が提示していないという課題もあります。

## 大阪府経済の活性化に向けて

高校生が未就職のまま卒業してしまうと、ニートやフリーターという不安定な状況に陥ってしまうことが懸念されるため、一日でも早い就職の実現が重要であるとして、高卒未就職者を対象とした就職支援の取り組みについて問いました。

また、雇用環境改善のためには府内の企業、特に中小企業の業績向上が重要であり、海外ビジネス展開を志向する中小企業へのサポート事業の実施についてもあわせて求めました。

## 流入車規制対策強化される

民主ネット議員団は、公平な競争、環境保全の立場から、自動車排ガス違反車輻の取り締まり強化を求めました。

その結果、このたび条例が改正されることとなり、自動車排ガス基準に違反した車両を使用した企業は、その企業名を公表されることになりました。

## 震災対策に万全の備えを

東日本大震災に際し、被災者では職員用の食糧などを備蓄しておらず、発災後も物資不足から数日間、食糧などを入手できなかったと聞いています。

災害に備え、大阪府民の食糧備蓄に万全を期すのは当然として、最前線で活動する府職員用の備蓄も重要と考えますが、災害対策の本部機能も有する府庁舎に

## 高等技術専門校の高額な授業料

高等技術専門校のうち、産業人材育成校として訓練科目を実施する3つの専門校において、これまで無償であった入校料、授業料などを有償化すると議会へ提案がありました。

受益と負担の考え方から一定の理解はできるものの、他の都道府県のほとんど

## 9月定例会(前半) 代表質問の他項目

- 他府県進学者への私学助成
- 部長職の公募採用
- 退職職員の再就職のあり方
- 入札制度改革
- 震災の記憶を風化させない
- 耐震診断、土砂災害対策
- 障害者総合支援法
- これからのエネルギー政策
- シャープ堺工場の状況
- 万博記念公園の承継
- 都市魅力戦略とグレートリセット
- グランド・デザイン大阪

民主党・無所属ネット大阪府議会議員団  
公式ホームページ  
[www.minshu-osaka.jp](http://www.minshu-osaka.jp)

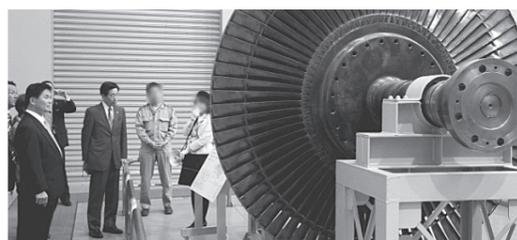


厳しい態度で質問に臨む 上の政調会長

## 政務調査活動の状況報告

### エネルギー政策の調査研究

原子力にかわる代替エネルギーの検討が喫緊の課題となっている今、「地熱」「風力」「太陽光」を活用した発電所を調査するため、鹿児島県を訪問しました。(11月6日、7日)



指宿市内 「山川地熱発電所」



南さつま市内 「野間岬ウインドパーク 風力発電所」



鹿児島市内 「セツ島メガソーラー 発電所」建設地

### 福島県被災地への政務調査

震災の発生と、それに伴う原子力発電所の事故から1年4ヶ月が経過した福島県の実況を調査しました。(7月25日、26日)



マスク着用で現地を巡回する議員団



保健所の職員の方から残留放射能の検査(スクリーニング)を受ける参加議員



南相馬市役所を訪問し、櫻井市長と懇談

# 災害発生時“命を守る72時間”の救出救助活動のための整備を

## 警察常任委員会 警察 しばたに匡哉 府議 被災地視察の経験を踏まえ提言



大阪府議会議員 **まさや しばたに匡哉**  
大阪府議会警察常任委員会副委員長

### 災害時に府民の命を守るため「警察にも必要な備えを」と強く訴え

平成24年9月定例会（平成24年9月21日から12月14日まで）では、しばたに府議が警察常任委員会での質問に立ち、しばたに府議自身の4度にわたる東日本大震災被災地訪問の経験や、阪神淡路大震災の記録の検証に基づき「被災直後の警察活動に必須となる備蓄について」「消費期限を迎える府警の備蓄食糧の有効利用について」等について質問・提言を行いました。

### 被災者の救出救助を担う警察の備蓄は僅か一日分

まず、しばたに府議は、「大規模災害発生時には、あらゆる物品の流通が停止することから、大規模災害発生後の被災者の救出救助等の警察活動の勤務継続態勢の確保の観点からも、食糧等の備蓄は重要であると考えますが、現在の大阪府警察における備蓄の状況をお伺いします。」と、警察

の備蓄の現状について質問しました。

大阪府警察からは、「府警では、災害発生時に備える約5万7千食を備蓄している。これは災害警備に従事する職員の1日分の食糧に相当する」との答弁があり、災害発生時に被災者の救出救助を担う警察の備蓄については、現状では僅か1日分しか確保されていない事が明らかになりました。

### 災害発生後72時間の救出活動が命を救う

大阪府警察本部や、府内各警察署の備蓄食糧は1日分である現状について、しばたに府議は、「大規模災害発生時に、警察に期待されることは、まず人命の救助であると考えます。大規模災害発生時の被災者の生存率は、72時間を過ぎると急速に低下すると言われており、東日本大震災でも、この持ち時間を目安に大がかりな捜索救助が集中的に行われました。阪神淡路大震災でも、救出された生存者のうち、9割強が72時間以内に助け出された人々でした。」



と、しばたに府議自身の4度にわたる東日本大震災被災地訪問の経験や、阪神淡路大震災の記録の検証に基づき災害発生後72時間での

救出救助活動の重要性を述べた上で、「災害現場において初動的な活動に従事する警察官は、体力が資本となります。一人でも多くの尊い命を救うためにも、是非、72時間分、すなわち3日分9食の食糧の確保をして頂きたい。」と、強く訴えました。

### 府警察の備蓄食糧も期限後は有効活用を

また、しばたに府議は、警察の消費期限を迎える備蓄食品について、「私の地元、八尾市では、消費期限を迎える備蓄食品を地域防災組織に提供し、地域での防災訓練に活用しています。地域防災も増加しており、今後、消費期限を迎える備蓄食品の活用を促すことが必要です。」と述べた上で、「消費期限を迎える府警の備蓄食糧につきまして有効活用することについて検討をお願い致します。」と要望しました。



消費期限後は有効利用されている中部広域防災拠点（八尾市空港）の備蓄食糧

### 被災直後の警察活動に必要な物品の充実を



被災地で警備を行なう警察官 撮影：柴谷府議

さらに、しばたに府議は、「大規模災害の発生時には、職員の被災や警察施設の損壊が予想されます。このような状況下においても、府民の安全確保や治安の維持のために必要な警察活動を継続していただくため、備蓄食糧や飲料水以外にも、庁舎が損壊した場合に使用するテント、被災直後の警察活動に必要な、物品の備蓄も必要であると考えます。」と、災害に備えた備品等の更なる充実を訴えました。

### 警察常任委員での質問を終えて

警察常任委員での質問を終え、しばたに府議は「大規模災害時の警察官の並々ならぬ「使命感」や「行動力」には、本当に頭が下がる思いです。こうした、警察官の活動をしっかりと支える為、そして、一人でも多くの尊い府民の皆さんの命を救う為に、必要な食糧や物品の整備を積極的に進めてほしい。」と感想を述べています。